

平成26年5月29日

## 平成26年度事業報告

一般社団法人として認可基準である公益目的支出計画に基づき、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業執行状況について報告する。

### I 地図の利用・普及および地図情報の発展に資する事業（実施事業）

#### 1. 「測量の日」関連行事

「測量の日」の関連行事として、東京地区実行委員会が主催する平成26年6月4日（水）～6月6日（金）までの3日間、新宿西口広場イベントコーナーにおいて、「くらしと測量・地図展 ― 世界文化遺産・自然の営み富士山 ―」が開催された。入場者数は、3日間で7,000名（推計）であった。当協会は、会員の協力を得て、地図等の普及啓蒙や地図教育等に関するパネル展示を行い、地図利用の拡大に努めた。

#### 2. 「地図展」の開催

平成26年度の地図展は、今回で47回目となるが、横浜市の協力を得て、平成27年1月15日～22日までの8日間、横浜港大さん橋国際客船ターミナルCIQプラザにおいて、地図展推進協議会7団体[(一財)日本地図センター、(一社)全国測量設計業協会連合会、(公社)日本測量協会、(一社)地図協会、(一財)日本測量調査技術協会、(一社)地図調製技術協会、(財)測量専門教育センター]の主催より、「横浜のまち みち みなと」テーマで開催された。

展示内容は、開港以来の横浜市とそれを支えた東海道や横浜港を江戸から今日までを8時期に分けて、地図や空中写真等で変遷を紹介した。また、この地図展では、「横浜市民団体ブース」、「全国街道交流会議ブース」、「企業物販ブース」も設けられたほか、6日間にわたり「セミナー・講演会」が開催され大盛況であった。当協会も地図展推進協議会の一員として協力・参加し、物販コーナーでは、会員の「有隣堂書店」が出店して地図関連図書の販売を行った。開催期間中の来場者は8日間で、3,585名であった。

#### 3. 児童生徒地図作品展等の後援等

児童生徒地図作品展関連の行事として、平成27年1月10日（土）に国土地理院において、全国児童生徒地図作品展連絡協議会（2年に1回開催）が開催され、当協会から前野理事が出席して、当協会の活動状況について報告した。

児童生徒地図作品展等の後援については、今年度も(株)ぶよう堂様のご好意により「株式会社 武揚堂製 伊能中図 定価32,000円」を贈呈した。以下のとおりある。

##### (1) 「第53回地図ならびに地理作品展」の後援

主 催 広島県地図ならびに地理作品展運営委員会

開催期間 平成26年9月6日（土）～9月20日（土）

開催場所 広島市こども文化科学館

国土交通省国土地理院・広島県等とともに後援し、社団法人地図協会賞として、広島県内の小学校の部、中学校の部、高等学校の部の優秀作品に、それぞれ副賞を贈呈した。

(2) 「35回札幌市児童生徒社会研究作品展」の後援

主 催 北海道教育地図研究会・札幌市教育地図研究会

開催期間 平成26年10月18日(土)～19日(日)

開催場所 かるで2-7 札幌市北区北2条西7丁目

国土交通省国土地理院・札幌市等とともに後援し、社団法人地図協会賞として、札幌市内小学校高学年の部の優秀作品に、副賞を贈呈した。

(3) 「第15回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」の後援

主 催 鳥取県地域社会研究会等4団体

開催期間 平成26年10月17日(木)～12月6日(土)

開催場所 米子市児童文化センター、鳥取市歴史博物館、倉吉未来中心、鳥取大学

国土交通省国土地理院・鳥取県教育委員会等とともに後援し、社団法人地図協会賞として、鳥取県内小学校の部優秀作品に、副賞を贈呈した。

5. 「月間 地理情報」の発行

当協会はこれまで、「月間 地理情報」として、新刊情報案内を提供してきたが、今年度の新刊面数は、429面と昨年度に比べて2.4倍に増加した。新刊図の内訳は、2.5万分1地形図(多色刷)427面、500万分「1日本とその周辺」2面であった。また、新たに2.5万分1地形図(多色刷、柾判)が刊行されたので、新刊図の早期全国整備に向けて刊行量の増加を要請している。

旧図交換については、複製頒布を担当する日本地図センターと意見交換を行い、会員の要請に応じていく。

6. ホームページの運用

当協会のホームページを通じて、会員である販売店の皆様はもとより、一般の地図利用者の皆様に新刊情報のほか、当協会主催の「巡検の旅」、関係団体と開催する「測量の日」関連行事など各種のイベント情報について提供した。引き続きこのホームページが地域の皆様にお役に立つよう改善に努めていきたい。引き続きご支援、ご協力をお願いしたい。

II 政府刊行地図等の販売に関する事業(その他事業)

1. 地形図等及び数値地図の販売状況{(一財)日本地図センター販売分を含む}

国土地理院刊行の地形図等及び数値地図の一年間(4月1日～3月30日まで)の販売状況は、次のとおりである。

①地形図等販売状況

区 分	平成25年度	平成26年度	前年比
1万分の1地形図	16,913枚	10,721枚	63.4%
2万5千分の1地形図	576,419枚	503,195枚	87.3%
5万分の1地形図	128,425枚	92,328枚	72.0%
20万分の1地勢図	24,794枚	16,179枚	62.2%
その他	416枚	1,561枚	375.5%
計	746,967枚	623,984枚	83.5%

②数値地図販売状況

区 分	平成25年度	平成26年度	前年比
2,500 (空間データ基盤)	124枚	58枚	46.8%
25,000 (空間データ基盤)	486枚	15枚	3.1%
25,000 (地図画像)	2,332枚	1,317枚	56.5%
50,000 (地図画像)	531枚	464枚	87.4%
200,000 (地図画像)	273枚	186枚	68.1%
5mメッシュ (標高)	117枚	91枚	77.8%
10mメッシュ (火山標高)	11枚	10枚	90.9%
50mメッシュ (標高)	188枚	4枚	0.5%
250mメッシュ (標高)	48枚	73枚	152.1%
25,000 (行政界・海岸線)	7枚	1枚	—
25,000 (地名・公共施設)	19枚	3枚	15.8%
500 (総合)	11枚	20枚	181.9%
25,000 (土地条件)	74枚	64枚	86.5%
5000 (土地利用)	70枚	40枚	57.1%
数値データ2Kmメッシュ (ジオド)	0枚	0枚	0.0%
計	4,291枚	2,343枚	54.6%

2. 見学会等の開催

(1)「巡検の旅」の開催

今回で57回目となる「巡検の旅」は、「風林火山史跡を巡る歴史散策の旅」をテーマとして、武田信玄公のゆかりの地、甲州を旅した。信玄公の菩提寺「恵林寺」をはじめ、「武田神社」、「信玄堤」などを見学し、参加者は32名であった。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (受託)

今年度は、実績なし。

以上